

## 秋の旅行会「富良野・東大演習林と『ぼっぼ屋の幌舞駅』を巡る旅」

10月22日（日）に本年度の秋の旅行会＜富良野・東大演習林と「ぼっぼ屋の幌舞駅」を巡る旅＞を、会員、ご家族を含む21名の参加で実施しました。当会として12年ぶりに訪れた富良野演習林でしたが、鎌田林長に丁寧にご案内いただき、奥様方と子供さんを交え、楽しい1日を過ごすことができました。

朝8時に札幌駅に集合。貸切バスに乗りし高速経由で占冠から富良野をめざし、10時過ぎにまず樹木園に到着しました。ここは明治32年に創設され、海外から多くの林業樹種が移入され、それを育成栽培した施設で、カラマツなど様々な種類の樹木が育成されています。そこから麓郷にある森林資料館に移動、鎌田林長からお話をいただいたあと館内見学、森林管理の手法などを拝見し、だいぶ年期の入った建物の前で集合写真、その後バスの車窓から広大な演習林を視察しました。

バスは今年の台風被害の傷跡が残る南富良野町を經由して金山湖畔へ、ログハウス風のレストラン・ラーチで昼食会、恒例の参加メンバー自己紹介が行われ、懇親を深めました。

昼食会の後、南富良野町へ戻り、高倉健主演「ぼっぼ屋」の舞台となった幌舞駅（幾寅駅）のロケセットを見学、健さんの寡黙な中でも職務を全うした駅長さんに思いをはせました。今年の台風被害により一部区間不通のため、隣の東鹿越駅から15:13発の列車に乗り替えて40分ほど、金山湖畔を經由して富良野までローカル列車の旅を楽しみました。富良野では、毎年好評の酒蔵巡りとして、富良野ワイン工場に立ち寄り、試飲と見学を楽しみ、富良野ワインをお土産に帰路につきました。

紅葉の終わりの森を眺めながら、東大が守ってきた天然林の雄大さに時間のたつのも忘れ、「ぼっぼ屋」の舞台からローカル線で揺られながらそれぞれの思いに浸りつつ、会員・家族の懇親を深める良い1日を過ごすことができました。

ご案内いただいた東大演習林長の鎌田様、また、ご参加いただいた会員、ご家族の皆様へ感謝します。

（文責・小山）

